



MAYUMI OKU

Certainty,
Uncertainty

奥まゆみーたしかで ふたしかなもの

2010.9.29 (水) - 10.2 (土)

ゆうがく邸 1F 土間スペース

MAYUMI OKU

Certainty, Uncertainty

奥まゆみ - たしかで ふたしかなもの

展示内容 exhibition

「Anticipation - けはい」

会場手前作品

布の内側に一人ずつ入ってご鑑賞下さい。
椅子に座っても、立ったままでもけっこうです。

熊野の地で言い伝えられてきた民話や伝承、私が実際に目にした風景を重ねて、
絵巻ドローイングを作りました。その中に入る事で現実世界と一旦切り離され、
より幻想的な風景に入り込み易くなるのではないのでしょうか。
その人それぞれの体験や想像と重ね合わせ、何かを感じてもらえると嬉しいです。

「Something - 何か」

会場奥作品

一人一つ積んである石を取り、中庭の地面に戻して下さい。
日を追うごとに次第に数が減ってゆき、やがて数個だけになるか、
もしくは全て無くなり植物も枯れてしまっている事でしょう。

ここに積んである石は自然の象徴であり、いわば山の神様の様なものです。
神様を祀る様に薄く削られた檜で草花等が吊り下げられています。
この風景は次第に人の手が加わる事で変わってしまい、時間と共に消えてしまいます。
しかし存在を取り去る事により、逆に存在を強く感じるようになります。
数十年経ち私たちがこの世から居なくなっても、山や海や森など自然は生き続けます。
数百年守り続けられ祀られてきた気配の象徴は例え取り去られたとしても、
" たしか で ふたしかなもの " として存在し続けるのでは無いのでしょうか。

MAYUMI OKU

2010.9.29 (水) - 10.2 (土)

ゆうがく邸 1F土間スペース

Certainty, Uncertainty

奥まゆみ — たしかで ふたしかなもの

概要 Outline

日本では古くから森羅万象に神を認めるという考え方があります。山に入ったり自然に囲まれた時、目には見えないけれど空気や気配でそこに崇高な何かが存在すると感じる事があります。昔の人々はそんな気配を形にして祈りを込めて祀りました。紀伊長島滞在中に熊野古道を実際に歩く中、とりわけ熊野には自然崇拝の信仰が根強く残っている事を実感しました。私はそこに自然に対する人々の畏怖と優しさを感じ、人間が忘れてはならない感覚が残されていると思いました。今回、この現実世界に確かに存在する言葉に出来ない幽玄な風景を、参加型のインスタレーション作品として発表致します。ぜひご高覧下さい。

プロフィール Profile

- 1976年 石川県生まれ
- 2001年 デザイン事務所勤務を経て、独学で制作を開始
- 2006年 メキシコにてアーティストインレジデンス、個展（野村文化財団助成）

主な個展・グループ展

- 2003年 「GHOST OF SWEETS」 ユトレヒト FLO GALLERY、東京
- 2004年 「FANTA SCOPE」、gallery appel、東京
- 2004年 「二人展 dime novel」 言水制作室、東京
- 2005年 「no! boundary line」、UPLINK GALLERY、東京
- 2005年 「奥まゆみ展」 CET2005、高橋ビル、東京
- 2006年 「El Bosque」 Galeria Nebulosa、メキシコ
- 2006~07年 「奥まゆみ×HARCO展 ワイルドピクニック」
(CERO、広島/ダーラヘストカフェ、福岡/digmeout、大阪巡回)

受賞歴

- 2008年 東京ワンダーシード 入選
- 2008年 アミューズアートジャム2008 入選
- 2009年 タグポート・スプリングアワード2009 入選
- 2009年 タグポート・オータムアワード2009 戸塚憲太郎賞受賞 (hpgrp GALLERY東京)
- 2009年 アミューズアートジャム2009 グランプリ受賞